

## 出前懇談会を振り返って

### ☆前回の出前懇談会の反省

- ・参加者の意見を聞く意味では目的は達成できたが、もう少し主催者側の意見や参加者議員の**意見が事前に整理されていれば良かった**のではないかと。
- ・市議会の広聴の機能としては良かったが、議員と参加者の話し合いは無く、懇談テーマには「野洲のまちづくりについて」とあったが、団体の性格上病院問題に集中した。
- ・一問一答の**意見交換**があっても良かったのではないかと。
- ・出前懇談会で参加者と議員が議論することが良いかという問題が以前からあり、説明したり、勘違いされていることを丁寧に説明することは必要であるが、前回のような大人数での**会議方式では難しい**と想定される。
- ・今回の実施に際し、市議会 HP と実施要綱の不整合があった。
- ・市民の要望を聞く場としては良かったが、参加者のまちづくりの課題に広がりがなかった。
- ・出前懇談会当日は、**公平に配慮した進行**であった。いろいろな意見が聞けて全体的には良い機会であった。
- ・市民の方から直接意見を聞く場としては、貴重な場で、今後は聞きっぱなしにしないこと。**市政に反映**するとともに、また**市民にどう返していくのか**考えていく必要がある。
- ・打ち合わせの段階では、ワークショップを予定していたが、団体から違う方法で実施したいと申し入れがあった。
- ・参加者の内、意見を言われた方（話された方）が限られていた。
- ・コロナ禍において、最初10～20名程度の参加と聞いていたが、30席が満席であった。最初**打ち合わせのとおり開催**するように理解を求めべき。
- ・「身の丈にあった病院」について発言がり、テーマと関係のない意見があり、市議会側から注意すべきであったのではないかと。一般的に**モラルにかけるような発言は控えていただく**ように説明していく必要がある。
- ・参加者側と市議会側で、それぞれ意見が一方通行であった。意見の違いはあっても良いが、当日は強い意志を持っておられる方が発言された。  
もっと、**参加された方のいろいろな意見を吸い上げていく**意味からも、**付箋に書いてもらう**など、打ち合わせの段階から、一部の方の意見だけでなく、**広く、数多くの参加者の意見が聞ける工夫**をしていただきたい。
- ・日時・場所・テーマ・当日の進め方・司会等について打ち合わせを行っている。
- ・市議会側からも参加者の方に対して、**質問して、分かり合える場面**がなかった。参加する限りは、前もって情報が欲しい。
- ・自分が疑問に思ったことについては参加者の方に聞きたいので、そうした時間

- も設けてほしい。意見のキャッチボールができるように思っていた。
- ・今回は、「野洲市のまちづくりについて」がテーマでしたので、各常任委員会からの参加で事前に合意した。  
参加議員については、懇談テーマに応じて市議会側が決めていくもので、決まった段階で申し込み団体にお知らせすることとなっている。
  - ・**新人議員の方の意見を聞きたい**というのは市民の感情としては考えられる。  
柔軟に考えてはどうか。
  - ・過去にそうした出前懇談会が開催され、**市議会としての改善されてきた経緯**がある。
  - ・今回の申し込みは、開催場所も適当に記載しており、結果としてテーマも病院問題に集中し、申込書を書き直してもらうなどの対応が必要である。  
開催場所についても、コロナ対策等も考えた上で、例えばコミセンとかで開催されるよう、**安全に開催されるように指導**すべき。
  - ・**コロナ対策**を十分に講じた開催とするべきであり、今回のような小さい会場での開催については、**安全な駐車場**も含めて検討すべき。
  - ・懇談会が密にならないように、また懇談会の中身を充実したものとするため、当日どのような**質問をされるのか**、**事前に協議**しておく必要があり、今回は不十分であったように思う。

### ☆今後の取り組み等

- ・出前懇談会のチラシ作成や市民への周知が不足しており、**出前懇談会の広報（周知）の取り組みが必要**である。  
例えば、市議会 HP だけでなく、コミセンの館長などに市議会議員が足を運んで、出前懇談会を説明し周知してく方法が良いと思う。
- ・出前懇談会として申し込みの段階で、門戸を狭くするのではなく、基本的に出前注文を受けるような感じで、打ち合わせを進めて行くイメージが必要である。
- ・市議会出前報告会は休止状態となっており、現在出前懇談会のみ実施しているが、今後、**市議会側から発信する市民懇談会**も検討していくべきである。
- ・**コロナ対策**を十分に講じた開催とするべきである。
- ・市民懇談会の開催を経験したが、市民への周知の方法等に課題があり、参加者が少なかったことから、現在休止している状態である。今回復活に向けての取り組みは大事であると思う。
  
- ・今後、今期の議会改革推進特別委員会の委員の**継続した検討課題**としていきたい。